一般質問

　１２月１１日、１２日、１３日に１９人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。

ＱＲを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

太陽クラブ　辻　 英幸

公共交通の見直しは

Q　本市の玄関口であるＪＲ能登川駅を擁する能登川地区の公共交通網について、

①令和４年３月のＪＲ西日本のダイヤ改正で能登川駅に停車する新快速が減便されたが、能登川駅の乗降客数に変化はあったか。

②新快速の減便は本市の発展にとり大きな痛手と思われるが、本市の見解は。

③これ以上のＪＲの減便はあってはならないが、対策は。

④ちょこっとバス大中線の利用者数が少ないように思われるが時間帯ごとの乗車数は。

⑤ちょこっとバス大中線の運行についての収支比率は。

A　①新型コロナ感染拡大前の令和元年度と比較し、日に１３００人ほどの減少です。

②ＪＲ琵琶湖線新快速の減便は日常的に公共交通を利用している市民や来訪される観光客の利便性を低下させ、本市の活力低下につながりかねないと危惧しています。

③毎年、滋賀県、県議会、市長会、市議会議長会、町村会、町村議長会の６団体の連名でダイヤの早期回復要望を行っていただいています。

④直近３か月の乗車データでは午前中が１便当たり約３人、午後が１便当たり約２人です。

⑤運行経費約１５００万円に対し運賃収入は約１２０万円で、運行収支比率は８％です。

太陽クラブ　櫻　 直美

学校教育、正解主義からの脱却

Q　内閣府の最新の教育政策資料には「一斉授業は限界」とある。子ども目線で、子どもが主体的に学べるような教育政策が必要と考えるが、

①校内教育支援センターと別室登校との違いは。

②児童生徒成長支援室を拡充し、利用しやすくしては。

③ホームスクーリングの現状は。

④フリースクールで出席認定されている人数は。

⑤国の教育予算について市長はどう評価しているのか。

A　①教室に入りづらくなった子どもの居場所としては共通していますが、校内教育支援センターでは、スタッフの充実を図ります。また、専門職による相談体制や保護者同士が語り合う場としてのつながりづくり、進学や就労など社会的自立を目指した助言や支援を行う未来づくりの機能を新たに設けたいと考えています。これらの機能を備えていることが、別室登校との大きな違いです。

②名称を変更し、施設の環境整備、質の向上を図るなど利用しやすい体制を整えていきます。

③タブレットを活用して４校５名が学習しています。

④フリースクールの利用者のうち11名が学校の出席認定を受けています。

⑤文部科学省でもさまざまな意見がありますので評価は差し控えます。

太陽クラブ　安田　高玄

市民にスポーツ機運を

Q　令和７年秋に滋賀県で２度目となる国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催される。また、元旦健康マラソン大会に替わる新規マラソン大会が、令和６年度に開催される予定である。市民にとって、スポーツ機運が高揚すると同時に、楽しく身体を動かし、健康寿命の延伸につながればと考えるが、

①国スポ・障スポ開催に向けての準備の進捗状況は。

②ＰＲで機運を上げる方法は。

③イメージソング「シャイン!!」を市役所庁舎内で流してはどうか。

④ボランティア募集をしているが、現在の登録者数は。

⑤新たなマラソン大会の開催の動きは。

A　①先催地の視察を終え、大会運営を参考にしながら順調に準備を進めています。

②二五八祭や各種スポーツイベントにＰＲブースを設置し啓発に努めています。

③庁舎新館で定期的に流しています。

④７００名程度の募集に対して現在30名です。

⑤これまでの元旦健康マラソンの歴史を継承しながら、にぎわいのある大会となるよう、令和６年度の開催に向けて、コース、日程について、警察や関係団体と協議を進めています。